



心の安定を第一に！生活リズムを学校生活に戻しましょう。

校長 草刈 俊晴

今日から2学期がスタートしました。この夏は、いつも以上に暑さの厳しい夏になりました。夏休み中に職員室での会話で、「冷房の効いた部屋にこもりっきりで子どもたちは、運動不足になっていないか心配ですね。」という声が聞かれました。熱中症対策や生活のリズムを崩さない早寝早起きなど、ご家庭や地域で知恵と工夫を働かせながら44日間の夏休みを大切に過ごしていただいたと感じています。9月からは、学校職員も不安と期待の混ざったスタートになると感じています。学級・学年の仲間との再会を楽しみにしていると同時に、久しぶりに会う友達とうまくやっていけるか、新学期の学習についていけるかなど、いろいろな不安や悩みを抱えている児童もいるかと思います。しんどい時は先生方や友達に勇気をもって困っていることを伝えてほしいです。そこで、9月の初旬は、最初の2週間を大切にして、不安解消のため担任も子どもへの言葉かけを増やし、いち早く児童の不安の解消に努める所存です。また、焦ることなく着実に一步一步、家庭生活のリズムを学校のリズムに戻していこうと考えます。



今学期も以下の3点に力を入れて学校を再開します。

1. 朝の会・帰りの会・リフレッシュタイム・昼休み・給食の時間を最大限活用して、仲間や先生方とのふれ合いを大切にし、共に考え取り組む作業を大切にして認め合い、楽しい時間にしていこう。
2. 頑張りを認め、子どもたちを全力で褒めていこう。子どもたちは褒められるために学校に来ているのですから。
3. みんなが、安全・安心に生活できるよう、地震や災害を想定して教室環境や校庭を整備していこう。

○学習面や生活面はもちろんのこと、学級内での係活動や児童会活動、委員会活動で子どもたちの活躍を見逃さないように、心がけて声をかけていきたいと思っています。

○夏休み中、栽培のプランターをご家庭にお持ち帰りいただき、更に、水やりや観察等進めいただきありがとうございました。引き続き各学年からの連絡通りご対応をお願いします。



【スマホ、タブレットのフィルタリングについて】

スマホは便利なツールである一方、依存やSNSトラブル、有害なコンテンツへのアクセスといったリスクを伴います。知らない相手とのトラブルに巻き込まれるケースも報告されています。このようなリスクに備えるために必要なのが「フィルタリング機能」の活用です。機能を適切に設定すれば、アクセス制限・時間制限・アプリ制限などを通じて、安全な利用環境を整えられます。有害サイトや犯罪、トラブルから子供を守るためには是非、設定をお願い致します。以下、代表的なフィルタリングのご紹介です。

iPhone 端末の機能制限(スクリーンタイム)【無料】

- ・ AppStore, 各機能の使用可否・使用制限
- ・ 不適切なコンテンツの購入やダウンロード
- ・ 成人向けサイトへのアクセス

Google ファミリーリンク (Android)【無料】

- ・ アプリ管理 (使用可否, 時間制限)
- ・ スマホ利用時間制限
- ・ 親のスマホから子供のスマホをロック
- ・ 利用時間を親に知らせる
- ・ 居場所確認等

※詳細は「スクリーンタイム」「ファミリーリンク」等で検索してみてください。

《 9 月の予定》

【行事予定は sigfy にて添付した PDF データで
ご確認下さい】

《10 月の主な予定》

【行事予定は sigfy にて添付した PDF データで
ご確認下さい】

《11 月の主な予定》

【行事予定は sigfy にて添付した PDF データで
ご確認下さい】

《前期学校評価アンケート ありがとうございました》

1学期末に児童と保護者対象に学校評価アンケートを実施させていただきました。7月下旬にアンケートの結果の表・グラフを学校HPや sigfy (PDF) にて配付・公開しております。頂いた、ご意見をもとに2学期以降の学習指導、生徒指導、学校行事、環境整備等に生かして参ります。ありがとうございました。

【不祥事根絶研修】

8月21日(木)に3校(柏六小、柏七小、柏三中)合同研修会の中で、柏市教育委員会から講師をお招きし不祥事根絶研修会を実施しました。

今回の研修の流れは

- ① 学校現場を取り巻く状況について知る
 - ② 子どもの権利を守る
 - ③ 児童生徒性暴力等から子どもを守る
 - ④ 体罰・不適切な指導等から子どもを守る
 - ⑤ 個人情報の漏えいから子どもを守る
- の5つの柱で研修を進めました。



具体的な事例をもとに教員同士がディスカッションしながら適切な対応について話し合い、全体で以下の内容を共有しました。

- 現場では児童生徒・保護者のハラスメントへの意識が高まっている。
- 教職員は児童に対する安全配慮義務を負っている。
- 不適切か否かの判断基準は、大人同士でも言えるか。児童生徒の親の前でも取り得る行為か。
- 個人情報の漏えい防止は、組織的・技術的な対策を講じる

今後も定期的に教職員に対する不祥事根絶研修を行い、教職員一人ひとりの認識を「アップデート」し、お子さんが安心・安全に通える学校づくりを行って参ります。

【全国学力・学習状況調査の結果について】

- ・本校(6年生)の児童の正答率は、全国の平均正答率とほぼ同等か少し上回っています。
- ・国語では、漢字の学習や「書く」ことに抵抗を感じている児童が多いです。日常的に、短文作りや日々の日記、行事後の感想文など、書く作業を増やすことで抵抗感なく書けるように指導して参ります。
- ・算数では、図形や文章問題など応用となる問題での正答率がやや低い傾向です。改善策としては、友達と学び合う活動の中で、自ら考え、行動できる場を工夫し、数学的な思考力・判断力・表現力を育て参ります。
- ・理科では、発展的な問題を避ける傾向が見られました。単元を見通した目標を意識させたり、学習過程を見直したりし、自分の意見をまとめて発表する場面を増やし、説明できる力が身に付くよう指導して参ります。